

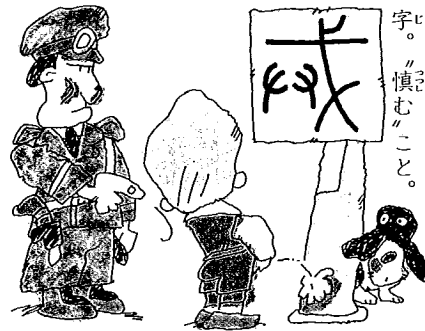
# 戒

カイ  
いましめる

7画 一 二 开 戒 戒 戒

「左下へはらう」

なりたち 二つの手を表した  
井と、武器の意味の戈(三)との  
会意字。手に手に武器を持ち、  
非常事態に備えて「いましめ  
(警戒する)」「ことを表した  
字。『慎む』こと。



いみじゆく  
▼戒める。気をつけさせる。  
戒告：①戒めること。②義務  
を怠ったとき、行う処分の  
こと。

訓戒：間違つたことをしない  
ように、教え戒めること。

用例 訓戒を垂れる。

警戒：犯罪や災害などが起こ  
らないように注意し用心す  
ること。例 警戒警報

戒め。

戒律：僧が守らなければなら  
ない戒めと規律。

破戒：戒めを破ること。戒律  
を破ること。例 破戒僧

十戒：仏教やキリスト教で守  
らなければならない十の戒  
律。

よみかた 戒厳令・戒名



# 械

カイ

# 械

カイ

4画

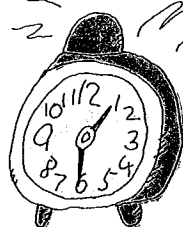
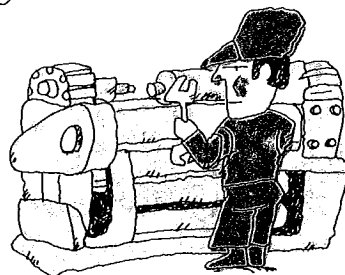
11画 木 木 柀 械 械 械

「はねる」

なりたち 戒める意味の戒と、  
木との会意形声字。罪人を戒  
めるため、首や手足にはめて  
自由を拘束する木製の器具の  
ことを表した字。転じて、広  
く器具の意味に用いられる。



いみじゆく  
▼器具。機具。  
器械：器具。道具。動力をも  
たない簡単なくみのもの。  
例 器械体操  
機械：動力によって動き、有  
用な仕事をする装置。



# 我

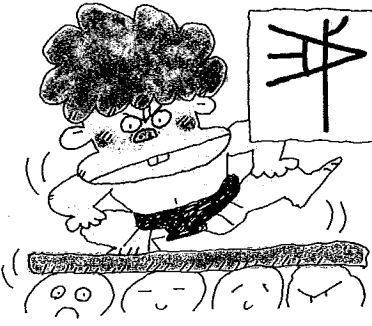
ガ  
われ・わ

6画

7画 ノ 二 手 我 我 我

「はねる」

なりたち 武器の形をかたど  
つた象形字。長柄の戈(三)の一  
種。それは「われ」を守る物で  
あるから「われ」の意味に用い  
られるようになった。転じて、  
「自分の事に執着すること」。



いみじゆく

▼我。自分のこと。

自我：自己。自分。ほかのも  
のど、はつきり区別して考  
えられる自分自身。

我田引水：自分の田に水を引  
くことから、自分に都合の  
良いようにすること。

▼わがまま。自分勝手。  
我意：自分の考えを押し通そ  
うとする心。わがまま。

我流：自分勝手な流儀(やり  
方)。自己流。用例 我流を通  
す。

我利：自分だけの利益。例 我  
利我利亡者

▼仏教で自分の考えにとらわ  
れること。

我慢：怒りや悲しみなどをみ  
せないで、こらえること。

我執：自分の考えにとらわれ  
ること。我を通すこと。

よみかた 無我・彼我

よみかた 無我・彼我

# 我義

# 義

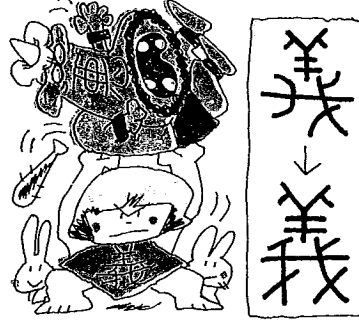
ギ

5画

13画 羊 羊 羊 義 義 義

「はねる」

なりたち 善・美の意味の羊  
と、我の意味の我(ギは転化  
音)との会意形声字。「我を善  
美ならしめる人の道」を表し  
た字。人として当然守らな  
ければならない道徳。正義。



いみじゆく

▼正しい道。道理。

道義：人として行わなければ  
ならない正しい道。道徳。  
正義：正しい道理にかんつた  
こと。

義拳：正義のためにする行い。  
義憤：正義や公のために発す  
る憤り。用例 非道な行いに  
義憤を覚える。

▼意味。  
意義：①その言葉の持つ意味。  
②それが持つている価値。  
存在理由。用例 意義のある  
行為。

▼血のつながりは無いが、そ  
れに準じた関係にあること。  
義父：義理の父。配偶者の父  
や、養父など。

▼本物のかわりになるもの。  
義足：失った足の代わりにつ  
ける、木や金属でできた足。

よみかた 義務・義理・定義

よみかた 義務・義理・定義

よみかた 義務・義理・定義